

1. <施策の概要>

基本理念	自立を目指した協働のまちづくり	統括課	議会事務局
基本方針	その他		
施策名	その他	関連課	
方針・目標等	◆地方主権時代にふさわしい議会づくり ◆議員活動の活性化		
実施内容	◆議員の管外研修 ◆議会だよりの発行 ◆議会事務局運営経費		

2. <指標の設定>

	重点	指標名	単位	他団体比較 団体名／実績／年度		算式・引用等	
①	○	議事録公表までの準備日数	日	本津川市 60	24	定例会ごとの平均	
②		議会だより発行部数	冊	本津川市 27,800	24	全世帯数	
③		議員研修回数	回	本津川市 4	24	常任委員会別の 合計実施回数	
④		議会ホームページアクセス件数	件		24	庁外からのアク セス数	
⑤							
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標	60	60	60	60	60	60
	実績	55	51	37	39		
②	目標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	実績	13,000	13,000	13,000	13,000		
③	目標	6	6	6	6	6	6
	実績	6	8	7	10		
④	目標	25,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績	26,196	20,806	23,593	20,890		
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・議事録公表までの準備日数は、平成20年度で大きく遅れたが、21・22年度においては目標内の公表を達成することができた。また、23・24年度では目標を大きく上回ることができた。各種委員会の会議録校正量にも大きく影響されるが、目標内の公表を維持していくことが課題である。

・議会の活動状況を住民に周知するうえで、議会だよりは必要不可欠であるため、引き続き発行していく中で、より見やすい誌面づくりなどに取り組むことが課題である。

・議員の自己研鑽並びに所管委員会等の審議に資するうえで、少なくとも1委員会につき年間1回の開催は必要である。

・ホームページや、議会中継の内容の充実と強化が課題である。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・議事録公表までの日数安定化やホームページ、議会中継への対応など、事務局体制(人員増等)の充実が課題である。

・議会だよりは、より親しまれる議会広報誌にするため、わかりやすい記事・内容と文字の拡大や全ページカラー化など、さらなる内容充実が課題である。

・議員研修は、住民ニーズに応える見識や知識を身に付けるため継続的に実施していくことが必要である。

・ホームページは議会情報の有効な発信ツールとして、さらなる多種・多様化、情報量の拡充に努めていく必要がある。

4-1. ＜施策を構成する事業＞

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 ＜単位：千円＞					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	○ 議会事務局	105,186	103,091	157,345	137,907	129,665	129,665
	議会運営活動費	93,088	91,125	145,634	126,072	117,830	117,830
	一般事業 59	93,088	91,125	145,634	126,072	117,830	117,830
2	議会事務局	18,538	18,977	18,329	18,479	19,142	19,142
	議会事務局運営費	6,268	6,392	6,168	6,024	6,687	6,687
	一般事業 61	6,267	6,361	6,110	5,988	6,687	6,687
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. ＜施策を構成する事業の成果と課題＞

・議会だよりを年4回発行し、表・裏表紙(2面)のカラー化や写真の多用など、見やすさや親しみやすさの面で充実させることができた。 ・各常任委員会等において、目的の研修を実施することができた。 ・インターネットによる本会議のライブ中継と録画中継を実施した。

・議会事務局の重要任務の一つである会議録作成のほか、議会運営や議員活動の補助といった事務局運営に係る事業を実施した。

＜定例会・委員会等の開催状況＝会議録作成状況(20年度：延79回154時間、21年度：延89回215時間、22年度：延127回272時間、23年度：延100回198時間、24年度：延110回190時間)＞

5. ＜施策の今後の方向性＞

・議会基本条例に基づき、今後、より一層議員活動を活性化し、議会活動の住民周知をさらに進めるため、インターネット等を利用した議会中継(ライブ、録画)の内容充実(ライブでのテロップ挿入や休憩時間表示等)、議会だよりの内容充実に向けた取り組みを検討する。

・議会ホームページについても、より充実した内容となるよう取り組みを検討する。

・議会活動のさらなる活性化にあわせ、それに対応し得る事務局体制の充実について研究する。